



プロセス改善実証実験に参加して

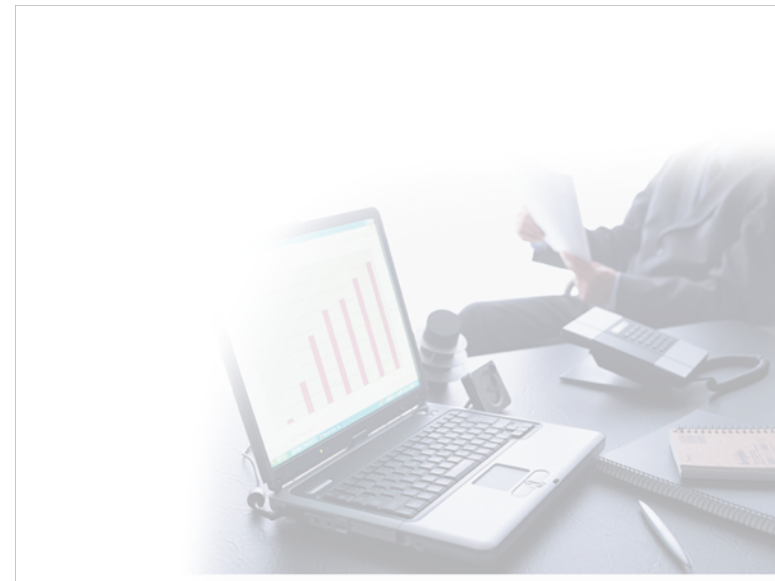
『参加することに意義がある』

品質保証部 小浜(オバマ)



# 目次

- 会社紹介
- 参加までの経緯
- 対象プロジェクトの選定
- 開発部門の意識
- 活動の概要:
  - 期待、混乱、気づき
- まとめ



# 住生コンピューターサービスのご紹介



- 社名 住生コンピューターサービス株式会社  
(SUMISEI COMPUTER SERVICE Co., Ltd.)
- 本社所在地 本社／大阪市淀川区  
東京本社／東京都新宿区
- 設立 1971年5月
- 資本金 3億円
- 代表者 代表取締役社長 永富 晶
- 従業員数 1,266名 (2007年4月現在)
- 事業内容 システムコンサルティング、  
システム開発・運用管理、SI事業、ERP事業、  
ネットワーク設計・運用、アウトソーシング、  
セキュリティサービス
- 財務指標 売上高/229億1,500万円  
経常利益/2億8,800万円
- 認定 システムインテグレータ (SI) 登録企業 (経済産業省)  
ISO9001認証取得企業  
プライバシーマーク使用許諾事業者  
電気通信事業者 (総務省)  
ISO27001認証取得企業





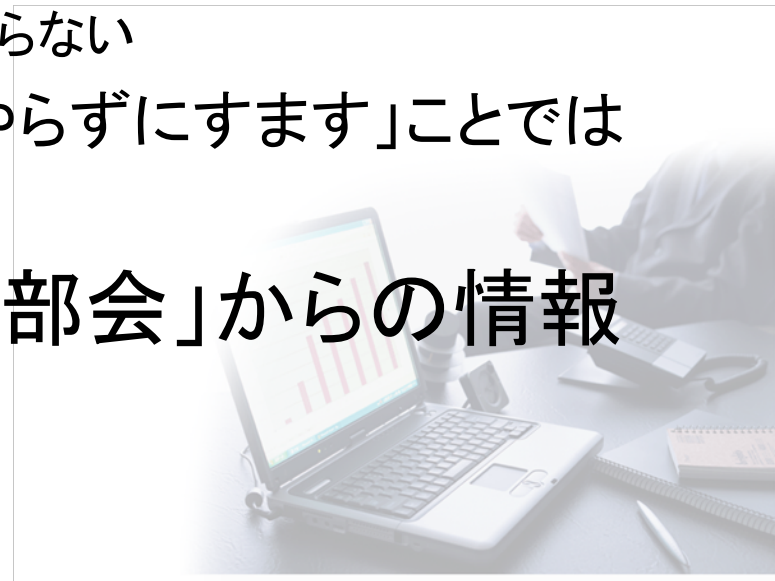
# 実験参加までの経緯(下心)

## ■ CMMIの検討

- H18年度から「研究」
  - お墨付き?にはしたくないけれど
  - アプレイザが養成できない
  - アプレイザルのイメージがわからない
- H19年度「時期尚早?」でも「やらずにすます」ことではないし---

## ■ IPA/SEC:「プロセス改善部会」からの情報

- →渡りに船





# 対象プロジェクトの選定

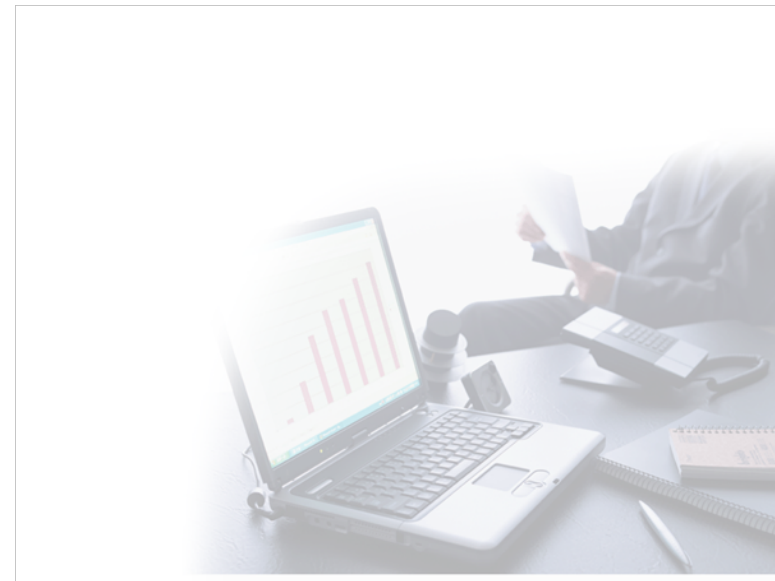
## ■ 選定理由

- 重点ビジネス分野
- ロケーション
- キーパーソン(現場の)

## ■ 選定結果

- 内製パッケージの展開プロジェクト
- 組織は「グループ」但し60人

→「儲かりまっか」





# 開発部門(現場)の意識

- 大型PTが終盤
  - 改善材料はたくさんある
- セールスは順調
  - アサインする要員が悩み---嬉しい悲鳴だが---
  - 導入済み顧客数の増加

→NOW! GOOD TIMING!





# 活動の概要

- プロセス  
改善教育
- アセッサ  
教育
- アセス  
メント  
(改善計画)





# 期待、混乱、気づき

## ■ 期待

- 今のやり方を客観的に見直したい
- なるべく広い範囲を見たい
- 他社事例や世間標準レベルを知りたい
- できればアセスできるようになりたい







# 期待、混乱、気づき

## ■ 混乱

- モデルはあっても「客観的」になれない
- 広い範囲を見る時間はない
- プラクティスは抽象的で言葉がわからない
- 受け身では何も進まない

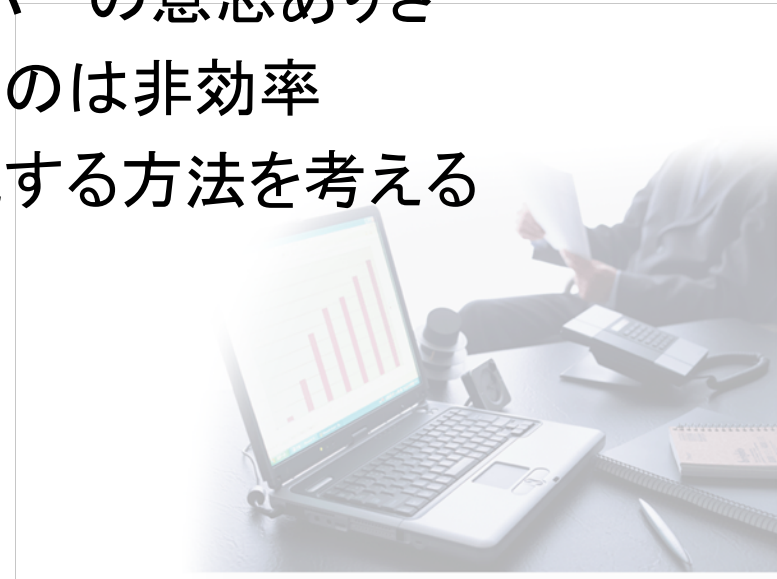




# 期待、混乱、気づき

## ■ 気づき

- 客観的把握にも意志・思いが前提
  - ビジネス上の目標ありき
  - 「かくありたい」というメンバーの意志ありき
  - 「とにかくレベルを上げる」のは非効率
  - 「やりたかったこと」を実現する方法を考える

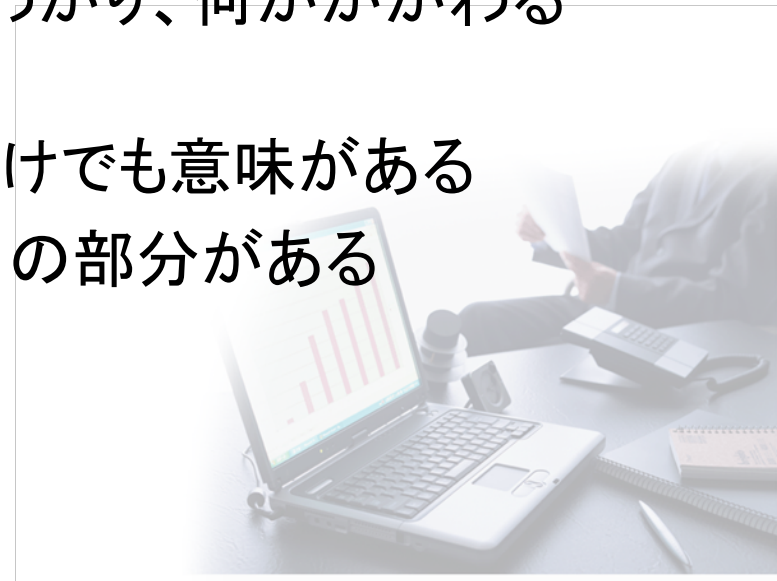




# 期待、混乱、気づき

## ■ 気づき

- 重点突破でまず始めるのが大事
  - 全プロセスを見直そうとすると圧倒される
  - 早く手をつければ何かがわかり、何かがかわる
    - Ex.スキルマッピング
  - 「何が大事か」議論するだけでも意味がある
  - よく見れば「あとひと手間」の部分がある
    - Ex.標準プロセス





# 期待、混乱、気づき

## ■ 気づき

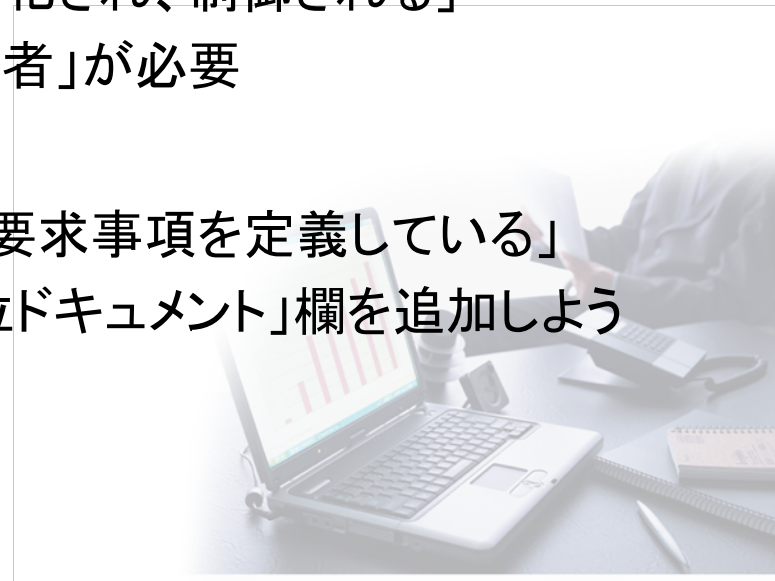
– 「モデルの限界」を悟ればモデルは使える

### ■ 汎化・抽象化 vs 具体性・わかりやすさ

- Ex. 「適切に識別され、文書化され、制御される」
- → 「翻訳の手引き」 or 「翻訳者」が必要

### ■ 理念 vs 個別改善策

- Ex. 「作業生産物の制御の要求事項を定義している」
- → 変更管理一覧表に「上位ドキュメント」欄を追加しよう





# 期待、混乱、気づき

## ■ 気づき

– 「モデルの限界」を悟ればモデルは使える

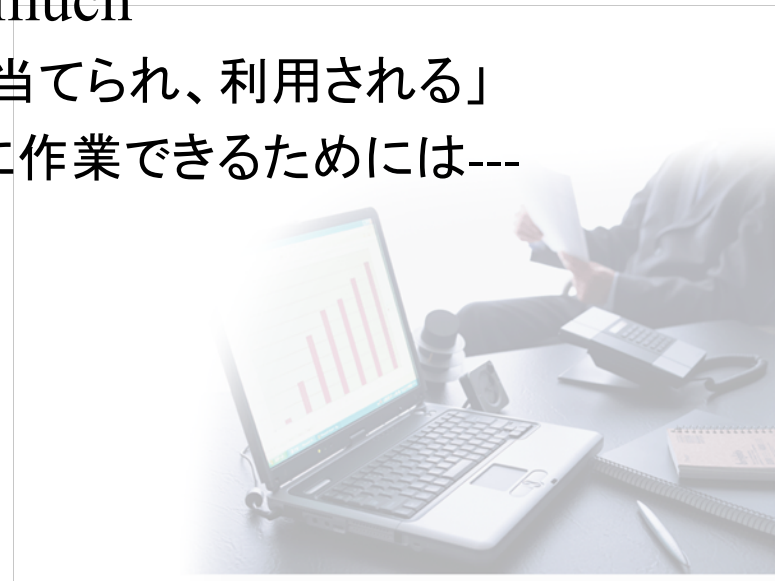
■ 網羅性 vs 重点目標

■ What vs Why・How・How much

– Ex.「利用可能であり、割り当てられ、利用される」

– →全メンバーが戸惑わずに作業できるためには---

・ どんだけ?



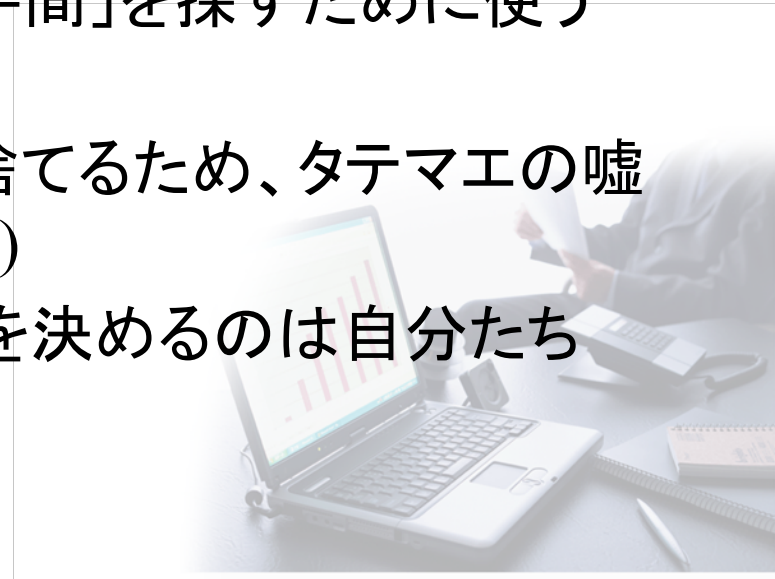


# 期待、混乱、気づき

## ■ 気づき

### – モデルの使い方

- コモン・センスを身につけるために使う(汎化・理念)
- 狙いをつける、「あとひと手間」を探すために使う(網羅性)
- 過去の経緯、しがらみを捨てるため、タテマエの嘘を見破るために使う(What)
- 「何をどれだけすべきか」を決めるのは自分たち
  - (モデルは答えをくれない)





# まとめ(キーワード)

- 下ごころは大事(渡し船は来る)
- 「儲かりまっか」(ビジネス)が基本
- Now`s the time.始めなくては始まらない
- 重点突破
- モデルの限界を知れば使える
- ×「どんな効果があるの?」→○「どんな効果を出したいの」





# W!th your Next



弊社の許諾なく、当資料の無断転用、複写、転送を行うことを禁じます。本文中に記載している会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

品質保証部

**SIC** 住生コンピューターサービス株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-14-1 新宿グリーンタワービル  
TEL 03-3348-6715 (代表) FAX 03-3348-5307

